

2020年〈令和2年〉6月3日(水曜日)

「換気」を見える化

NKEが新「CO₂れんら君」発売
機能を付加

製造業における生産設備機器や支援機器を開発・製造・販売するNKE（社長＝中村道一氏、本社・東京都伏見区）は、すべてのモノがインターネットにつながるIoTを既存設備への後付けで簡単に構築できる簡易情報連絡端末「れんら君」に新たな機能を付加し、室内の換気状態を見える化できる新商品「CO₂れんら君」をこのほど発売した。空気中の二酸化炭素（CO₂）濃度を連続的に計測し、画面表示させることで、人が集まる閉鎖空間の状態を可視

化することが可能。換気の必要性を利用者に伝える指標的な役割を果たす。人が密集した際、換気状態が十分かどうかの判断指標となる商品として、同社は提案に乗り出している。

ウイルス感染リスクの軽減には「密閉」「密集」「密接」の3密回避が必要不可欠。3密の一つである「密閉」対策では、室内の換気が有効であるとされる。換気扇を常時稼働させることや、定期的な窓の開放で換気を行うことが一般的だが、同社は「換気扇と一時的な

窓の開放だけでは十分な換気ができているとは言えないとの見解を示す。

一般的にCO₂濃度は屋外で約400ppm、室内で1千ppmと言われており、高濃度になると眠気や疲労感を感じやすくなる。高濃度の環境下では倦怠感、頭痛、耳鳴り、息苦しさ等の症状が

現れることもある。「CO₂れんら君」を使用することで、利用者はCO₂濃度の数値が目で見えるようになるため、室内の換気状態を計るための指標にできるといふ。設置方法は換気状態を



CO₂れんら君とモニター画像の一部

可視化したい場所に「CO₂れんら君」の本体を設置し、LAN回線を用いてネットワークとパソコンに接続するだけ。これにより測定データをパソコン、スマートフォン（スマホ）、タブレット端末などで確認することが可能になる。警報プサの有無やメール通知の条件・宛先はパソコンやスマホの専用アプリから任意で設定・変更できる。過去400日分の状態記録を自動保存できる機能も備えている。前日の時間とセンサー情報を記録したCSVデータとグラフ画面をメール送信することができる。データは本体に保存される。利用者が後から自由に閲覧できる点は利便性が高い。現在インターネット環境が整っていない利用者向けには、ルーターとSIMカードとのセット販売も用意している。「CO₂れんら君」の外寸法は幅と奥行きが12.2センチ、高さが4.2センチ。

2℃。動作温度0度〜50度C、動作相対湿度は結露のない状態で80%以下。通常販売価格は5万円5千円（消費税別）だが、同社では販売開始キャンペーン価格として4万9千800円（税別）で提供している。初年度の販売台数は500台をを目指す。